



カフェ あまんと café 亜麻人

麻生町6丁目高橋ビル2階
☎ 080-2870-9735
《火～土》10:00～16:00 (土曜日は15:00まで)
「ぷちひろば」
《毎週火・金・土曜日》10:00～15:00
毎週月・日曜日・祝日定休

カフェ × 子育て

あさぶ 麻生地区にある「café 亜麻人」は、地域の名前の由来でもある「あま」の糸を使ったコースター作りや、認知症の方やその家族を対象とした「オレンジカフェ」など、「三世代交流ひろば」として誰でも気軽に交流できるイベントが盛りだくさん。

「今日初めて来ましたが、偶然、中学の同級生に会うことができびっくり」そう話してくれたのは、あまんと 亜麻人で開催されている子育てサロン「ぷちひろば」を利用していたお母さん。小さな子どもはもちろん、子育て中のお母さんたちが日々の暮らしをリフレッシュできる「場」として、毎週火・金・土曜日の3回、あまんと 亜麻人を運営するNPO法人「プチトマト」が開催しています。

そこでは、美容師の経験があるお母さんが子どもの髪を上手に切るコツを伝授したり、同じ子育て世代のお母さんたちに活用してもらうための簡単レシピ集のアイデアを出したりと、さまざまな形で交流の輪が広がっているようです。

常連のお母さんは「ここに来て、いろいろと話ができるだけでもすごく息抜きになるんですよ。子育ての相談もできますしね」と笑顔で話してくれました。

カフェ × 商店街

地域の商店や町内会などとの「つながり」を生み出しているところもあります。

3月まで「へるすたでい藤麻人」の名で親しまれてきた「あさぶ 麻生キッチンりあん」では、藤女子大学食物栄養学科の学生たちによる栄養バランスが考えられた食事の提供や、ひとり親家庭の子どもたちなどへの学習支援を行っています。その一方で、自分の作った料理を食べてもらいたいと思っている方や将来お店を持ちたいと考えている方などにワンデイシェフ方式で店舗を貸し、起業も支援しながら地域の「人」と「食」をつなげています。

また、新琴似地区にある「café 自休自足」では、カフェの開業を考えている方を対象とした実践的な開業講座や、親子で参加できるミニコンサートなどを開催しています。

さらに、昨年1月には同地区を活性化させようと、地域の商店主らと「キタクなる新琴似」というグループを発足。町内会などで構成するコミュニティネットワーク会議や新琴似まちづくりセンターと協力し、地域の魅力を見つめなおしてもらう「～キタクなる新琴似～お宝再発見事業」にも参加しています。



このように、地域の交流を深める方法はさまざま。皆さんも、自分に合った交流の「場」を見つけ、地域との「つながり」を深めてみませんか。



学習支援の様子

あさぶ 麻生キッチンりあん

麻生町5丁目麻生ビル1階
☎ 070-5048-4050 ☎ 707-9923 (あさぶ商店街)
11:30～15:00 (土曜日は16:00まで)



お宝再発見事業のフォト審査の様子

カフェ じきゅうじそく cafe 自休自足

新琴似3条7丁目 ☎ 764-4224
11:00～17:00
第3日曜日定休